

令和 6 年 2 月 14 日

報道機関 各位

山陰研究交流会 開催のご案内【 2/28 】  
「持続可能な地域社会をつくる—誰もが安心して暮らせる地域を目指して—」

◆本件のポイント！

- ・山陰研究センターの研究活動から、毎月 1 テーマずつわかりやすく成果をお伝えします
- ・山陰地域の持続性の問題についての報告から、地域を「まもり」、「つくり」、「つなげる」ために必要な方策について考えていきます

◆本件の概要

本交流会は法文学部山陰研究センターの研究活動からわかりやすく成果をお伝えし、研究交流のみでなく一般の方にも理解を深めてもらうことを目的として開催しています。

2 月は藤本 晴久 准教授(島根大学法文学部)より、「持続可能な地域社会をつくる—誰もが安心して暮らせる地域を目指して—」と題して報告します。

本報告は、山陰研究プロジェクト「持続可能な地域社会構築のための地域政策に関する研究」(代表・藤本晴久)の成果にもとづき、山陰地域の持続性の問題を「まち・むら」、「ひと」、「しごと」の観点から考察します。山陰研究ブックレット13(令和 6 年 3 月末刊行予定)の内容を中心に報告し、私たちの地域を「まもり」、「つくり」、「つなげる」ために必要な方策について考えていきます。

◆概要内容

【日 時】令和 6 年 2 月 28 日(水) 16:00~17:30

【テ マ】持続可能な地域社会をつくる—誰もが安心して暮らせる地域を目指して—

【発 表 者】藤本 晴久 (島根大学法文学部 准教授)

【開催方法】Zoom によるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えて下さい

島根大学法文学部 山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。  
開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2023092700014/>



【添付資料: あり( 1 枚) なし】

# 2023年度 山陰研究交流会



参加無料・オンライン

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それをもとに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をさせていただくことで、専門分野の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

●日時

2023年10月25日(水)～2024年2月28日(水) (全4回)

いずれの回も 16:00～17:30

●参加方法

ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申込み下さい。

【問い合わせ先】

島根大学法文学部山陰研究センター  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060  
[電話]0852-32-9833

53

2023年

10/25

## 投票価値較差訴訟の近年の動向

— 憲法における「地域」の位置づけをめぐって —

発表者：黒澤 修一郎 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「比較法学研究の山陰地域課題への実践的応用」

54

11/29

## 全国アニメ聖地巡礼地アンケート調査による

巡礼地域への影響・効果の研究

発表者：野田 哲夫 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「コンテンツツーリズムとしてのアニメ聖地巡礼による観光振興・地域振興の課題と可能性」

55

2024年

1/31

## 昭和戦前期山陰農村における地主の家族と生活

— 西伯郡旧大幡村の矢田貝家を事例に —

発表者：齋藤 邦明 (山陰研究センター客員研究員・東洋大学経済学部)

@山陰研究共同プロジェクト「矢田貝家文書を活用した近現代山陰の農業・農村史研究と歴史実践」

56

2/28

## 持続可能な地域社会をつくる

— 誰もが安心して暮らせる地域を目指して —

発表者：藤本 晴久 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「持続可能な地域社会構築のための地域政策に関する研究」